

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容総論	演習	1	園田 雪恵
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
保育の5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)における内容や教育者の思想を振り返り、自分自身の保育実践と関連付け、包括的な学習を行う。また、習得した知識をいかして実践できるよう保育者としての基礎力を培う。			
<b>【授業の概要】</b>			
これまでの保育に関する学習内容を踏まえ、乳幼児に関する事例ワークから総合的に考察していく。その中で、子どもの主体性を支える保育者としての役割を学ぶ。授業では、パワーポイントを使用し、その内容のプリントとワークを完成させる。また、保育に関する法令等の小テストがある。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. オリエンテーション			
2. 保育とは—自分自身の保育観と子ども観			
3. 幼稚園・保育所・認定こども園の法規および保育内容			
4. 子どもの発達と保育			
5. 基本的な生活習慣と幼児期の道徳性—現代のしつけの達人「しまじろう」—			
6. 教育思想から保育を考える			
7. 遊びの中の保育内容5領域			
8. 子どもの「健康」—食育について—			
9. 子どもを取り巻く「人間関係」			
10. 「環境」による保育			
11. 子どもの「言葉」—ちょっと気になる子の事例—			
12. 子どもの「表現」—感性に繋がる保育—			
13. 子育ての今と昔			
14. 保育における今後の課題			
15. 試験およびまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 現在子どもが抱えている問題に関心を持つようにすること。			
学習のあり方: プリントや資料を配布するので、重要なポイントは保育者の基礎知識として覚えること。			
復習のあり方: 授業での学習内容を保育者としての基礎知識と捉え、いかに実践にいかしていくのか検討すること。			
<b>【成績評価】</b>			
平常試験(50%)、確認テスト及び提出物(50%)により総合的に判断する。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
授業で配布するコメントシートに授業に対する疑問点や質問を記入し、次回の授業にて解説することによりフィードバックを行う。			
<b>【テキスト】</b>			
適宜プリント及び資料を配布する。			
<b>【参考文献】</b> 厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館 内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館			